

かずさ水道広域連合企業団
水道用水供給事業及び水道事業業務状況
(令和元年度上半期)

平成31年4月1日～令和元年9月30日

かずさ水道広域連合企業団

目次

総括	1
第1章 水道用水供給事業	
第1 事業の概況	
（1）業務の状況	3
（2）建設改良事業の概要	3
第2 経理の状況	
（1）収益的収入及び支出	4
（2）資本的収入及び支出	5
第3 平成30年度の決算の状況	
（1）決算の概要	6
第2章 水道事業	
第1 事業の概況	
（1）業務の状況	8
（2）建設改良事業の概要	8
第2 経理の状況	
（1）収益的収入及び支出	9
（2）資本的収入及び支出	10
第3 平成30年度の決算の状況	
（1）決算の概要	11

総括

かずさ水道広域連合企業団は、君津地域の水道事業の効率化を図るため、木更津市、君津市、富津市、袖ケ浦市の4市で行っていた水道事業と君津広域水道企業団で行っていた水道用水供給事業を同一の事業体で行うことを目的に創設し、平成31年4月1日から事業を開始しました。

水道の基盤を強化し、清浄にして豊富低廉な水の供給を図ることを目的に、持続可能な水道事業の運営に向け様々な課題を抱えるなか、技術基盤や経営基盤の強化に関して効果が期待できる事業統合を実施しました。

当期につきましては、基本計画における施設整備計画に基づき、施設の統廃合事業、管路の更新事業、施設設備の更新事業、耐震化事業、管理設備集約事業等を実施しました。

第 1 章

水道用水供給事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況

本年度の年間総給水量は50,021,110 m³を予定しておりますが、当期の給水量は24,590,969 m³となり、予定量24,842,850 m³に対し98.99%の供給実績となりました。

なお、1日平均給水量は134,376 m³、1日最大給水量は7月31日に146,585 m³を記録し、負荷率は91.67%となりました。

業 務 量

区 分		単 位	令和元年度上半期
1	取 水 量	m ³	24,897,071
2	送 水 量	m ³	24,715,291
3	有収水量（給水量）	m ³	24,590,969
4	構成団体別内訳	千葉県	9,496,942
5		木更津市	6,643,706
6		君津市	3,142,896
7		富津市	2,629,604
8		袖ケ浦市	2,677,821
9	1日平均給水量	m ³	134,376
10	1日最大給水量	m ³	146,585
11	有 収 率	%	99.50
12	負 荷 率	%	91.67

(2) 建設改良事業の概要

平成29年度から着手し、本年度に竣工を予定している大寺浄水場新管理本館の築造工事を実施するとともに、老朽化の著しい浄水場内外施設の電気計装設備を中心に、能力低下や重大故障の回避を図るための更新事業に着手しました。

このほか、水道法等で規定する水道施設の管理及び運営上の衛生管理のため、送水施設の場内整備工事を実施する予定です。

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	上 半 期 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
水 道 事 業 収 益	6,916,153,000	3,376,235,168	48.82	
営 業 収 益	6,506,227,000	3,214,848,029	49.41	
営 業 外 収 益	409,926,000	161,387,139	39.37	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	上 半 期 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
水 道 事 業 費 用	5,996,248,000	2,950,605,450	49.21	
営 業 費 用	5,735,854,000	2,872,658,235	50.08	
営 業 外 費 用	246,448,000	74,806,215	30.35	
特 別 損 失	4,946,000	3,141,000	63.51	
予 備 費	9,000,000	0	0.00	

(注)

- 1 営業外収益の執行額には、上期分として予算額の2分の1相当の長期前受金戻入 159,725,500円を含む。
- 2 営業費用の執行額には、上期分として予算額の2分の1の減価償却費 1,181,526,500円を含む。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			上 半 期 執 行 額	執行率 (%)	備考
	現年度分	繰越額に係る 財 源 充 当 額	計			
資 本 的 収 入	821,420,000	0	821,420,000	0	0.00	
企 業 債	800,000,000	0	800,000,000	0	0.00	
出 資 金	21,420,000	0	21,420,000	0	0.00	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			上 半 期 執 行 額	執行率 (%)	備考
	現年度分	繰 越 分	計			
資 本 的 支 出	4,365,343,000	229,752,720	4,595,095,720	2,083,609,191	45.34	
建 設 改 良 費	3,318,564,000	229,752,720	3,548,316,720	1,562,734,297	44.04	
企業債償還金	1,046,779,000	0	1,046,779,000	520,874,894	49.76	

第3 平成30年度の決算の状況

(1) 決算の概要

〔収益的収支〕

収益的収支（税抜き）の決算状況は、収益総額6,313,833,511円（対前年度比0.25%増）に対し、費用総額5,246,152,155円（対前年度比3.67%増）で、差し引き1,067,681,356円（前年度1,237,797,717円）の当年度純利益を計上しました。

収益の内訳は、営業収益5,944,929,446円（対前年度比0.08%減）、営業外収益365,157,640円（対前年度比4.71%増）及び特別利益3,746,425円（対前年度比 皆増）です。

なお、営業収益のうち給水収益は5,918,241,952円で、前年度に比べ0.08%の減少となりました。

費用の内訳は、営業費用5,077,474,510円（対前年度比4.37%増）、営業外費用168,677,645円（対前年度比13.85%減）です。

なお、当年度未処分利益剰余金は、前年度からの繰越利益剰余金はありませんが、その他未処分利益剰余金変動額998,366,218円を計上しましたので、当年度純利益と合わせて2,066,047,574円となりました。

〔資本的収支〕

資本的収支（税込み）の決算状況は、収入総額542,544,000円（対前年度比91.78%増）に対し、支出総額3,236,610,301円（対前年度比2.13%減）となりました。

収入の内訳は、企業債500,000,000円及び出資金42,544,000円です。

支出の内訳は、建設改良費2,211,228,771円、拡張工事費21,391,312円及び企業債償還金1,003,990,218円です。

なお、収入額が支出額に対し不足する額2,694,066,301円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額162,247,468円、減債積立金998,366,218円及び過年度分損益勘定留保資金1,533,452,615円で補てんしました。

第2章

水道事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況

四市における当期の給水戸数は140,278戸で、当期の総配水量は19,222,605 m^3 となりました。

なお、1日平均配水量は105,042 m^3 、1日最大配水量は7月31日に113,433 m^3 を記録しました。

有収水量は16,455,713 m^3 で、有収率は85.61%となりました。

※ 有収水量：配水量のうち漏水等を除いた水道料金の支払いの対象となる水量

※ 有収率：配水量における有収水量の割合

業 務 量

区 分			単 位	令和元年度上半期
1	行政区域内人口		人	324,661
2	給水人口		人	319,945
3	給水戸数		戸	140,278
4	配水量	期間総量	m^3	19,222,605
5		1日最大	m^3	113,433
6		1日平均	m^3	105,042
7		1人1日平均	ℓ	328
8	有収水量		m^3	16,455,713
9	有収率		%	85.61

(2) 建設改良事業の概要

本年度の建設改良工事は、老朽管更新工事及び施設改良工事等を計画しており、当期につきましては、二間塚地先配水連絡管布設工事、真舟二丁目地先配水管改良工事、長谷川地先配水管更新工事、西川地先配水管改良工事、蔵波台4丁目地先配水管改良工事等を契約し、工事を進めております。

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	上 半 期 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
水 道 事 業 収 益	10,933,157,000	5,317,226,404	48.63	
営 業 収 益	9,302,223,000	4,590,971,640	49.35	
営 業 外 収 益	1,630,933,000	726,254,764	44.53	
特 別 利 益	1,000	0	0.00	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	上 半 期 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
水 道 事 業 費 用	9,905,685,000	4,452,492,702	44.95	
営 業 費 用	9,414,049,000	4,225,689,809	44.89	
営 業 外 費 用	460,178,000	219,413,508	47.68	
特 別 損 失	14,458,000	7,389,385	51.11	
予 備 費	17,000,000	0	0.00	

(注)

- 1 営業外収益の執行額には、上期分として予算額の2分の1相当の長期前受金戻入367,629,000円を含む。
- 2 営業費用の執行額には、上期分として予算額の2分の1相当の減価償却費1,281,755,000円を含む。

(2) 資本的收入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			上 半 期 執 行 額	執行率 (%)	備考
	現年度分	繰越額に係る 財 源 充 当 額	計			
資 本 的 収 入	3,073,520,000	0	3,073,520,000	43,769,329	1.42	
企 業 債	1,813,100,000	0	1,813,100,000	0	0.00	
出 資 金	503,679,000	0	503,679,000	0	0.00	
国 庫 補 助 金	600,789,000	0	600,789,000	0	0.00	
県 補 助 金	5,775,000	0	5,775,000	0	0.00	
他会計補助金	43,818,000	0	43,818,000	21,909,013	50.00	
負 担 金	106,359,000	0	106,359,000	21,860,316	20.55	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			上 半 期 執 行 額	執行率 (%)	備考
	現年度分	繰 越 分	計			
資 本 的 支 出	6,171,759,000	9,558,000	6,181,317,000	3,501,654,768	56.65	
建 設 改 良 費	4,457,935,000	9,558,000	4,467,493,000	2,658,449,442	59.51	
企業債償還金	1,694,905,000	0	1,694,905,000	843,205,326	49.75	
国 庫 補 助 金 返 還 金	3,381,000	0	3,381,000	0	0.00	
県 補 助 金 返 還 金	538,000	0	538,000	0	0.00	
予 備 費	15,000,000	0	15,000,000	0	0.00	

第3 平成30年度の決算の状況

(1) 決算の概要

四市において議決した平成30年度決算状況の合計数値を参考として公表します。

〔収益的収支〕

収益的収支（税抜き）の決算状況は、収益総額10,853,606,280円（対前年度比9.24%増）に対し、費用総額11,863,509,988円（対前年度比31.30%増）で、差し引き1,009,903,708円の純損失（前年度900,526,171円の純利益）となりました。

収益の内訳は、営業収益8,503,821,464円（対前年度比1.62%減）、営業外収益2,349,478,816円（対前年度比86.17%増）及び特別利益306,000円（対前年度比98.98%減）です。

なお、営業収益のうち給水収益は8,112,746,575円で、前年度に比べ1.23%の減少となりました。

費用の内訳は、営業費用8,749,726,748円（対前年度比2.97%増）、営業外費用468,020,306円（対前年度比6.92%減）及び特別損失2,645,762,934円（対前年度比7495.17%増）です。

〔資本的収支〕

資本的収支（税込み）の決算状況は、収入総額1,896,288,239円（対前年度比3.84%増）に対し、支出総額4,330,987,974円（対前年度比0.20%増）となりました。

収入の内訳は、企業債1,582,300,000円、負担金138,711,439円、補助金133,253,005円、出資金40,000,000円及び固定資産売却代金2,023,795円です。

支出の内訳は、建設改良費2,725,281,745円、企業債償還金1,605,414,650円及び補助金返還金291,579円です。

なお、収入額が支出額に対し不足する額2,434,699,735円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で補てんしました。